

贈与税、昨年63%増

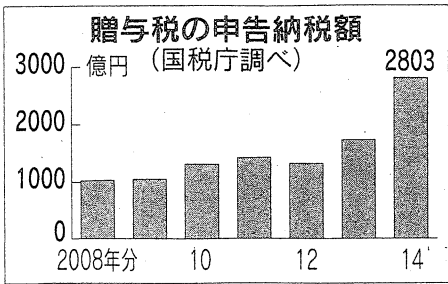
個人の確定申告 増税前駆け込み

国税庁は29日、2014年分の個人の確定申告状況を発表した。全国の申告所得額は37兆1054億円（前年比3・6%増）、所得税の申告納税額は2兆7087億円と

ほぼ横ばいだった。贈与税の申告納税額は2803億円（63・1%増）で、現行の基礎控除額となった01年以降で最高だった。

だった。

申告所得額をみると、株式などの譲渡所得が2兆1759億円（55・0%減）と大幅減。13年末に株譲渡益への軽減税率



国税庁は「相続税改正で15年1月から課税ベースが拡大し最高税率も上がったため、改正前に贈与する人が増えた」と分析している。14年4月に消費税率が5%から8%に引き上げられたことを受け、個人事業者の消費税の納税申告額は5218億円（41・6%増）で、過去最高

が廃止された影響で同年が過去最高となった反動が出た。14年の土地などの譲渡所得は3兆6171億円（5・8%増）だった。

確定申告書を提出した人は2139万人（0・2%減）で6年連続で減った。このうち納税額がある人は612万人（1・6%減）だった。

国税電子申告・納税システム（e-Tax）などを利用した確定申告書の提出割合は所得税56・5%、贈与税56・8%でいずれも増えた。